

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「やるのも見るのも」エンジョイ！スポーツ事業
事業主体 (連絡先)	高森町 下伊那郡高森町下市田2183番地1
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	640,170円 (うち支援金: 590,170円)

事業内容

アスリート講演会の開催

- (1) 講師：羽根田卓也選手（カヌー）、熊谷昌治選手
 時期：令和3年12月18日
 場所：高森町福祉センター
 参加者：100名（高森町民及び町内外カヌー競技関係者）
 内容：東京オリンピックに出場して
 国体競技開催地として必要なこと



【講演会の様子】

- (2) 高森町カヌークラブが町民向けのカヌー体験会を
 子ども（児童・生徒）から大人が参加し開催。

【目標・ねらい】

- ①カヌーに興味を持ち、自ら体験したいと思う町民の数が増えること
- ②「まちづくりプラン」成果指標の増に繋げる（全国大会以上の大会に出場した町民の数）

事業効果

- ①講演会に100名の参加があり、羽根田選手の講演から、町民がカヌーを再認識し、実際にカヌーをやりたいと思う機会となった。参加者の中からはカヌーをやりたいという意見があった。
- ②羽根田選手や熊谷さんの話から、スポーツは様々な競技があり、また健常者も身障者も実施できることを知る機会となり、今後、町民が誰でも全国大会などを目指せると思う機会となった。

※自己評価【B】

【理由】
 講演会に多くの町民が参加したことで、町のねらいであった、「町民のカヌー競技への意識付け」はできた。（パラスポーツ競技も同様）

今後の取り組み

令和3年度は、町民への意識付けとした。令和4年度は、カヌー体験をすることに重点を置き、天竜川においてカヌーに触れる機会を創出し、町民が町の資源や魅力を再認識する機会とした。また、体験会を通じて、カヌーに興味を持つ町民を増やし、カヌーによるまちづくりの促進を目的とする。2028年国民体育大会への町民が選手として出場また大会開催成功に繋げる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある